

# AO入試

## 学科AO入試

### 募集人員

体育学部	スポーツ文化学部	児童スポーツ教育学部	保健医療学部
体育学科 10名 健康学科 15名	武道教育学科 35名 スポーツ国際学科 30名	児童スポーツ教育コース 20名 幼児教育保育コース 9名	整復医療学科 35名 救急医療学科 25名

### 入試日程



選考方法 書類審査、総合考査(60分)、集団面接(10分)、武道実技試験(武道教育学科のみ)

過去問題 <http://www.nittai.ac.jp/exam/com/kakomon.html>



試験場 本学(横浜・健志台キャンパス)、札幌、仙台、高崎、名古屋、大阪、福岡  
※武道教育学科は横浜・健志台キャンパスのみ

### 出願要件

#### 体育学部 体育学科

次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。

- 1 本学体育学科への志望動機が明確で、第一志望であること。
- 2 学業成績は原則として全体の評定平均値3.0以上であること。
- 3 学科・領域の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- 4 スポーツへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。

- 1 高度な知識と実践力を有した保健体育教員を目指し、スポーツ教育学及び関連する理論の修得やさまざまな実習を通じて、学校教育に貢献しようとする意欲を有する者。
- 2 高度な知識と実践力を有したスポーツコーチを目指し、コーチング学及び関連する理論の修得やさまざまな実習を通じて、スポーツの競技力向上に貢献しようとする意欲を有する者。
- 3 高度な知識と実践力を有したアスレティックトレーナーを目指し、アスレティックトレーニング学及び関連する理論の修得やさまざまな実習を通じて、スポーツ選手の身体管理に貢献しようとする意欲を有する者。

#### 体育学部 健康学科

次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。

- 1 本学健康学科への志望動機が明確で、第一志望であること。
- 2 学業成績は原則として全体の評定平均値3.0以上であること。
- 3 学科・領域の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- 4 スポーツへの関心が極めて高く、健康で豊かな暮らしの実現に向けて、スポーツ医科学と教育、福祉、保健との連携に基づいた専門的な知識や技術を用い、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。

- 1 学校の保健計画や環境衛生を整え、健康診断や救急処置、学校給食、健康相談、健康教育などの相談や指導・支援に取り組む者。
- 2 職場の環境衛生を整え、腰痛予防その他の運動プログラムを用いて健康増進の相談や指導・支援に取り組む者。
- 3 成人がかかりやすい生活習慣病の予防や健康水準を整え、各人に適した運動の実施などの相談や指導・支援に取り組む者。
- 4 福祉の支援を必要とする人たちの生活環境を整え、教育・保健・医療・介護の機関と協働して相談や指導・支援に取り組む者。

#### スポーツ文化学部 武道教育学科

次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。

- 1 本学武道教育学科への志望動機が明確で、第一志望であること。
- 2 学業成績は原則として全体の評定平均値3.0以上であること。
- 3 学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。

- 4 武道(含伝統芸能)への関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、国の内外問わず社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。

- 1 武道の分野で優れた資質を有し、その資質の更なる向上を本学において目指す者。
- 2 伝統芸能・民俗芸能の分野で優れた資質を有し、その資質の更なる向上を本学において目指す者。

#### スポーツ文化学部 スポーツ国際学科

次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。

- 1 本学スポーツ国際学科への志望動機が明確で、第一志望であること。
- 2 学業成績は原則として全体の評定平均値3.0以上であること。
- 3 学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。

- 4 スポーツへの関心が極めて高く、国際協力・国際交流・開発援助を促進するための知識や技術を養い、将来、国際社会の中で日本の精神文化に立脚したスポーツ指導を実践し、国の内外問わず社会貢献しようという強い希望のある者。

#### 児童スポーツ教育学部

次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。

- 1 本学児童スポーツ教育学科への志望動機が明確で、第一志望であること。
- 2 学業成績は原則として全体の評定平均値3.0以上であること。
- 3 学科・コースの特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- 4 児童スポーツ教育学及びスポーツへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。

#### 児童スポーツ教育コース

学校現場や地域における児童の体育・スポーツや健康に関する適切な指導・支援が行える小学校教諭、幼稚園教諭等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。

#### 幼児教育保育コース

教育・保育の現場における乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導に関する適切な指導・支援が行える幼稚園教諭・保育士等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。

#### 保健医療学部 整復医療学科

次の(1)～(7)の要件を満たしている者とする。

- 1 本学整復医療学科への志望動機が明確で、スポーツに関心を持ち、第一志望であること。
- 2 学業成績は原則として全体の評定平均値3.0以上であること。
- 3 学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- 4 柔道整復師の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。

- 5 向上心を持ち、整復医療の知識・技術の習得に積極的な者。
- 6 人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。
- 7 社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。

#### 保健医療学部 救急医療学科

次の(1)～(7)の要件を満たしている者とする。

- 1 本学救急医療学科への志望動機が明確で、スポーツに関心を持ち、第一志望であること。
- 2 学業成績は原則として全体の評定平均値3.0以上であること。
- 3 学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- 4 救急救命士の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。

- 5 向上心を持ち、救急医療の知識・技術の習得に積極的な者。
- 6 人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。
- 7 社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。

# トップアスリートAO入試 (I期・II期・III期)

## 募集人員

体育学部			スポーツ文化学部		
I期	II期	III期	I期	II期	III期
体育学科 110名 健康学科 10名	体育学科 10名 健康学科 3名	体育学科 5名 健康学科 2名	武道教育学科 10名 スポーツ国際学科 5名	武道教育学科 1名 スポーツ国際学科 1名	武道教育学科 1名 スポーツ国際学科 1名

## 入試日程

I期				
出願期間 平成29年 8月1日(火)～ 8月20日(日) ※期間内消印有効	一次選考合格発表日 平成29年 8月29日(火) ※書類審査	二次選考試験日 平成29年 9月2日(土)	二次選考合格発表日 平成29年 9月14日(木)	入学手続締切日 平成29年 10月5日(木)
II期				
出願期間 平成29年 11月22日(水)～ 11月28日(火) ※期間内消印有効	一次選考合格発表日 平成29年 12月8日(金) ※書類審査	二次選考試験日 平成29年 12月17日(日)	二次選考合格発表日 平成29年 12月21日(木)	入学手続締切日 平成30年 1月9日(火)
III期				
出願期間 平成30年 1月29日(月)～ 2月4日(日) ※期間内消印有効	一次選考合格発表日 平成30年 2月15日(木) ※書類審査	二次選考試験日 平成30年 3月1日(木)	二次選考合格発表日 平成30年 3月7日(水)	入学手続締切日 平成30年 3月13日(火)

選考方法 一次選考:書類審査 二次選考:小論文試験(60分)、集団面接(10分)

試験場 本学(横浜・健志台キャンパス)

## 出願要件

### 体育学部

- 次の(1)～(5)の要件を満たしている者とする。
- 本学体育学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ本学部での就学意欲が高く、第一志望であること。
  - 学業成績は原則として全体の評定平均値3.0以上であること。
  - スポーツの分野で、社会に貢献する意欲を有すること。
  - スポーツの分野で、極めて優れた競技力を有し、本学入学後も本学学友会運動部(サークル等)に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者。
  - 競技成績が以下のいずれかに該当する者。

#### 個人競技

全国高等学校総合体育大会、国民体育大会及びこれらに準じる規模の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞者及び全国高等学校ランキング第8位以内の実績をもつ者とする。但し、高等学校3年間の在学中に限る。または、中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

#### 団体競技

全国高等学校総合体育大会、国民体育大会及びこれらに準じる規模の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞したチームで選手として試合に出場し、特に優れ将来性のある者とする。但し、高等学校3年間の在学中に限る。または、中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

### スポーツ文化学部

- 次の(1)～(5)の要件を満たしている者とする。
- 本学スポーツ文化学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ本学部での就学意欲が高く、第一志望であること。
  - 学業成績は原則として全体の評定平均値3.0以上であること。
  - スポーツまたは武道の分野で、社会に貢献する意欲を有すること。
  - スポーツまたは武道の分野で、極めて優れた競技力を有し、本学入学後も本学学友会運動部(サークル等)に所属し、当該競技を継続し、その競技力の更なる向上を本学において目指す者。
  - 競技成績が以下のいずれかに該当する者。

#### 個人競技

全国高等学校総合体育大会、国民体育大会及びこれらに準じる規模の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞者及び全国高等学校ランキング第8位以内の実績をもつ者とする。但し、高等学校3年間の在学中に限る。または、中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

#### 団体競技

全国高等学校総合体育大会、国民体育大会及びこれらに準じる規模の全国大会(定時制及び通信制等の大会は除く)で、第8位以内の入賞したチームで選手として試合に出場し、特に優れ将来性のある者とする。但し、高等学校3年間の在学中に限る。または、中央競技団体等が認定する強化指定選手である者。

## トップアスリートAO入試 対象競技種目

### 体育学部

No	対象競技種目名	男子	女子	No	対象競技種目名	男子	女子	No	対象競技種目名	男子	女子
1	陸上競技	○	○	13	ソフトテニス	○	○	25	カヌー	○	○
2	体操競技	○	○	14	硬式テニス	○	○	26	ボート	○	○
3	水泳	○	○	15	卓球	○	○	27	軟式野球	○	○
4	バレーボール	○	○	16	レスリング	○	○	28	自転車競技	○	○
5	バスケットボール	○	○	17	フェンシング	○	○	29	トライアスロン	○	○
6	ハンドボール	○	○	18	ボクシング	○	○	30	ラクロス	○	○
7	ラグビー	○	○	19	スキー	○	○	31	ライフセービング	○	○
8	サッカー	○	○	20	スケート	○	○	32	新体操	○	○
9	アメリカンフットボール	○	○	21	ウエイトリフティング	○	○	33	スカッシュ	○	○
10	硬式野球	○	○	22	アーチェリー	○	○	34	セパタクロ	○	○
11	ソフトボール	○	○	23	ゴルフ	○	○	35	チアリーディング	○	○
12	バドミントン	○	○	24	トランポリン競技	○	○				

### スポーツ文化学部

No	対象競技種目名	男子	女子	No	対象競技種目名	男子	女子	No	対象競技種目名	男子	女子
1	陸上競技	○	○	15	卓球	○	○	29	柔道	○	○
2	体操競技	○	○	16	レスリング	○	○	30	剣道	○	○
3	水泳	○	○	17	フェンシング	○	○	31	相撲	○	○
4	バレーボール	○	○	18	ボクシング	○	○	32	軟式野球	○	○
5	バスケットボール	○	○	19	スキー	○	○	33	自転車競技	○	○
6	ハンドボール	○	○	20	スケート	○	○	34	トライアスロン	○	○
7	ラグビー	○	○	21	ウエイトリフティング	○	○	35	ラクロス	○	○
8	サッカー	○	○	22	アーチェリー	○	○	36	ライフセービング	○	○
9	アメリカンフットボール	○	○	23	ゴルフ	○	○	37	新体操	○	○
10	硬式野球	○	○	24	トランポリン競技	○	○	38	スカッシュ	○	○
11	ソフトボール	○	○	25	カヌー	○	○	39	セパタクロ	○	○
12	バドミントン	○	○	26	空手道	○	○	40	チアリーディング	○	○
13	ソフトテニス	○	○	27	少林寺拳法	○	○				
14	硬式テニス	○	○	28	ボート	○	○				

※武道教育学科の出願は、空手道、少林寺拳法、柔道、剣道、相撲の種目のみとする。

## 併設校AO入試

### 募集人員

体育学部	スポーツ文化学部	児童スポーツ教育学部	保健医療学部
体育学科 20名 健康学科 5名	武道教育学科 3名 スポーツ国際学科 5名	児童スポーツ教育コース 5名 幼児教育保育コース 5名	整復医療学科 10名 救急医療学科 10名

### 入試日程



選考方法 書類審査、総合考査(60分)、集団面接(10分)

過去問題 <http://www.nittai.ac.jp/exam/com/kakomon.html>



試験場 本学(横浜・健志台キャンパス)

### 出願要件

#### 体育学部

次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。

- 本学体育学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ第一志望であること。
- 学業成績は全体の評定平均値3.0以上であること。
- 学科・領域の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- スポーツの関心が極めて高く、体育学部が定める3つの方針(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)と自身の目標とが合致し、本学での学修を活かして、将来、当該分野で活躍・貢献しようという強い意欲を有する者。

#### スポーツ文化学部

次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。

- 本学スポーツ文化学部(志望学科)への志望動機が明確で、かつ第一志望であること。
- 学業成績は全体の評定平均値3.0以上であること。
- 学科・領域の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- スポーツの関心が極めて高く、スポーツ文化学部が定める3つの方針(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)と自身の目標とが合致し、本学での学修を活かして、将来、当該分野で活躍・貢献しようという強い意欲を有する者。

#### 児童スポーツ教育学部

次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。

- 本学児童スポーツ教育学部(志望コース)への志望動機が明確で、第一志望であること。
- 学業成績は全体の評定平均値3.0以上であること。
- 学科・コースの特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- 児童スポーツ教育学部への関心が極めて高く、児童スポーツ教育学部が定める3つの方針(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)と自身の目標とが合致し、本学での学修を活かして、将来、当該分野で活躍・貢献しようという強い希望のある者。

#### 保健医療学部

次の(1)～(4)の要件を満たしている者とする。

- 本学保健医療学部(志望学科)への志望動機が明確で、スポーツに強い関心を持ち、第一志望であること。
- 学業成績は全体の評定平均値3.0以上であること。
- 学科の特色を熟知し、明確な学修意欲がある者。
- 各学科において以下の要件を満たす者。

##### ■ 整復医療学科

- 柔道整復師の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。
- 向上心を持ち、整復医療の知識・技術の習得に積極的な者。
- 人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。
- 社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。

##### ■ 救急医療学科

- 救急救命士の業務を理解し、将来この資格を活かして社会で貢献・活躍しようという強い希望のある者。
- 向上心を持ち、救急医療の知識・技術の習得に積極的な者。
- 人間の生命、人間としての尊厳を尊重し、将来高い倫理観と科学的思考を備えて社会の規範になろうとする者。
- 社会の一員として、自分の行動に責任を持ち、多様性を尊重し、思いやりの心を有する者。

# 推薦入試

### 対象学部一覧

学部	学科・コース	推薦区分	I期(11月)	II期(12月)
体育学部	体育学科 健康学科	一般推薦		●
		指定校推薦	●	
		スポーツ推薦	●	
スポーツ文化学部	武道教育学科 スポーツ国際学科	一般推薦		●
		指定校推薦	●	
		スポーツ推薦	●	
児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育学科 [児童スポーツ教育コース] 幼児教育保育コース	一般推薦	●	
		指定校推薦	●	
保健医療学部	整復医療学科 救急医療学科	一般推薦	●	
		指定校推薦	●	

## I期(一般推薦・指定校推薦・スポーツ推薦)

### 募集人員

体育学部		スポーツ文化学部	
スポーツ推薦	指定校推薦	スポーツ推薦	指定校推薦
体育学科 340名 健康学科 10名	体育学科 85名 健康学科 15名	武道教育学科 35名 スポーツ国際学科 10名	武道教育学科 7名 スポーツ国際学科 15名

児童スポーツ教育学部		保健医療学部	
一般推薦	指定校推薦	一般推薦	指定校推薦
児童スポーツ教育コース 31名 幼児教育保育コース 8名	児童スポーツ教育コース 26名 幼児教育保育コース 19名	整復医療学科 21名 救急医療学科 21名	整復医療学科 15名 救急医療学科 15名

### 入試日程



≫ **選考方法** 一次選考:書類審査  
二次選考:小論文試験(60分)、集団面接(10分)

≫ **過去問題** <http://www.nittai.ac.jp/exam/com/kakomon.html> ▶▶▶



≫ **試験場** 本学(横浜・健志台キャンパス)

≫ **推薦基準**

**体育学部**

**スポーツ推薦**  
高等学校3年間の在学中にスポーツ競技大会(全国高校総体、国体、全国選手権等の試合に選手として出場したことを原則とする。)において、特に優秀な成績を上げ、かつ学業成績は、全体の評定平均値3.0以上を原則とする。

**指定校推薦**  
詳細については、指定する高等学校長に別途連絡する。

**スポーツ文化学部**

**スポーツ推薦**  
高等学校3年間の在学中にスポーツ競技大会(全国高校総体、国体、全国選手権等の試合に選手として出場したことを原則とする。)において、特に優秀な成績を上げ、かつ学業成績は、全体の評定平均値3.0以上を原則とする。

**指定校推薦**  
詳細については、指定する高等学校長に別途連絡する。

**児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育コース**

**一般推薦**  
児童教育学及び児童の体育・スポーツや健康指導・支援に強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者で、学業成績は全体の評定平均値3.0以上を原則とする。

**指定校推薦**  
詳細については、指定する高等学校長に別途連絡する。

**児童スポーツ教育学部 幼児教育保育コース**

**一般推薦**  
幼児教育・保育学及び乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導・支援に強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者で、学業成績は全体の評定平均値3.0以上を原則とする。

**指定校推薦**  
詳細については、指定する高等学校長に別途連絡する。

**保健医療学部 整復医療学科**

**一般推薦**  
柔道整復分野及びスポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者で、学業成績は全体の評定平均値3.0以上を原則とする。

**指定校推薦**  
詳細については、指定する高等学校長に別途連絡する。

**保健医療学部 救急医療学科**

**一般推薦**  
救急医療分野及びスポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者で、学業成績は全体の評定平均値3.0以上を原則とする。

**指定校推薦**  
詳細については、指定する高等学校長に別途連絡する。

**Ⅱ期(一般推薦)**

≫ **募集人員**

体育学部	スポーツ文化学部
一般推薦	一般推薦
体育学科 10名 健康学科 10名	武道教育学科 2名 スポーツ国際学科 3名

※推薦入試Ⅰ期に合格した者は、当該年度の推薦入試Ⅱ期を受験できない。

≫ **入試日程**



≫ **選考方法** 一次選考:書類審査  
二次選考:小論文試験(60分)、集団面接(10分)

≫ **過去問題** <http://www.nittai.ac.jp/exam/com/kakomon.html> ▶▶▶



≫ **試験場** 本学(横浜・健志台キャンパス)

≫ **推薦基準**

**体育学部**

**一般推薦**  
スポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者で、学業成績は全体の評定平均値3.0以上を原則とする。

**スポーツ文化学部**

**一般推薦**  
スポーツに強い関心を持ち、学力及び人物に優れた者で、学業成績は全体の評定平均値3.0以上を原則とする。

# 特別入試

## 帰国生入試

### 募集人員

体育学部	スポーツ文化学部	児童スポーツ教育学部	保健医療学部
若干名			

### 出願資格

日本の国籍を有し、次のいずれかに該当する者。

出願資格	出願条件
外国において、学校教育(日本国内の外国人学校は含まない)における12年の課程を修了した者または修了見込みの者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者。	1. 外国において、外国の教育制度に基づく高等学校に2年以上継続して在学し、通常の12年の学校教育課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を卒業(修了)した者または平成30年(2018年)3月31日までに卒業(修了)見込みの者。ただし、入学時に学校教育12年の課程を修了後1年未満であること。日本の高等学校の在籍期間は原則として1年半未満であること。
スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者。	2. 原則として1の出願条件に準ずる。
ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者。	3. 原則として1の出願条件に準ずる。
フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者。	4. 原則として1の出願条件に準ずる。
日本の高等学校を平成30年(2018年)3月卒業見込みの者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者。	次のいずれかに該当する者 5. 外国の中学校から外国の高等学校にまたがり、2年以上継続して、外国において外国の教育課程に基づく教育を受け、帰国後の在籍期間が2年以内の者。 6. 通算して6年以上または継続して4年以上、外国において外国の教育課程に基づく教育を受け、帰国後日本の高等学校に編入学した者。

〈注意〉

- ・上記出願資格においては、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」の基準を含む。
- ・外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた者は、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなさない。
- ・帰国生入試における当該年度受験者の次年度以降の出願は認めない。

### 選考方法

- 一次選考:書類審査
- 二次選考:小論文試験(日本語で論述する。600字以上800字以内、60分)、プレゼンテーション(10分)

## 外国人留学生入試

### 募集人員

体育学部	スポーツ文化学部
若干名	

### 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次のいずれかに該当し、大学入学時(平成30年4月1日)18歳以上の者。

- 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年(2018年)3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
- ①スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者。  
②ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。  
③フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。  
④文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)の認定を受けた日本国内の外国人学校を修了した(見込み)者。

〈注意〉・上記出願資格においては、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」の基準を含む。その場合、大学入学時に18歳以上であることを問わない。  
・高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した(修了見込み)者は含まない。

### 出願区分及び出願要件

No.	出願区分	出願要件
(1)	一般	上記2.出願資格を有する者
(2)	学校法人日本体育大学 外国人入学候補生	上記2.出願資格を有する者で、出願時に学校法人日本体育大学外国人入学候補生である者

### 選考方法

No.	出願区分	出願要件
(1)	一般	一次選考:書類審査 二次選考:小論文試験(日本語で論述する。60分)、プレゼンテーション(10分)
(2)	学校法人日本体育大学 外国人入学候補生	一次選考:書類審査 二次選考:プレゼンテーション(10分)

## 特別入試

## リカレント入試

### 募集人員

体育学部	スポーツ文化学部	児童スポーツ教育学部	保健医療学部
若干名			

### 出願資格

スポーツ競技で、高等学校卒業後3年以上の社会人(含プロ選手)として全国大会相当以上の大会への出場経験を有し、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。

- 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者。
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- 学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

### 選考方法

- 一次選考:書類審査  
二次選考:小論文試験(600字以上800字以内、60分)、プレゼンテーション(10分)

## 飛び入学入試

### 募集人員

体育学部
若干名

### 出願資格

次の(1)～(3)の要件を満たしている者とする。

- 本学入学時に高等学校の在学期間が2年になる者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む)。
- 本学が展開する教育研究の分野(体育及びスポーツ科学)において特に優れた資質(オリンピック及びこれに準ずる国際大会における上位入賞の経験等)を有すると認められる者。
- 上記(2)について、これを証明する高等学校長あるいは指導者(外部指導者を含む)が推薦する者。

### 選考方法

- 一次選考:書類審査  
二次選考:小論文試験(60分)、個人面接(20分)

## IB資格入試

### 募集人員

体育学部	児童スポーツ教育学部	保健医療学部
若干名		

### 出願資格

#### 体育学部

以下全ての条件を満たしている者。

- スポーツの関心が極めて高く、体育学部が定める3つの方針(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)と自身の目標とが合致し、本学での学修を活かして、将来、当該分野で活躍・貢献しようという強い意欲を有する者。
- 日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者。その他これに準ずる者。
- 平成30年3月31日までに18歳に達する者で、国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma)を授与された者もしくは平成30年3月31日までに授与見込の者。
- 日本国内の高等学校または日本国内のインターナショナルスクールで国際バカロレア・ディプロマプログラムを修了した者。

〈注意〉日本国外の高等学校または日本国外のインターナショナルスクールで国際バカロレア・ディプロマプログラムを修了した者は、本入試の対象外とする。

#### 児童スポーツ教育学部

以下全ての条件を満たしている者

- 児童スポーツ教育学及びスポーツへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。

【児童スポーツ教育コース】

学校現場や地域における児童の体育・スポーツや健康に関する適切な指導・支援が行える小学校教諭、幼稚園教諭等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。

【幼児教育保育コース】

教育・保育の現場における乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導に関する適切な指導・支援が行える幼稚園教諭・保育士等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。

- 日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者。その他これに準ずる者。

- 国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格(International Baccalaureate Diploma)を授与された者または平成30年3月31日までに授与見込の者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者。

- 日本国内の高等学校または日本国内のインターナショナルスクールで、国際バカロレア・ディプロマプログラムを修了した者。

〈注意〉日本国外の高等学校または日本国外のインターナショナルスクールで国際バカロレア・ディプロマプログラムを修了した者は、本入試の対象外とする。

### 選考方法

- 一次選考:書類審査  
二次選考:小論文試験(日本語で論述する。600字以上800字以内、60分)、プレゼンテーション(10分)

## 英語外部資格入試

### 募集人員

体育学部	スポーツ文化学部	児童スポーツ教育学部	保健医療学部
若干名			

### 出願資格

#### 体育学部

以下全ての条件を満たす者。

- スポーツの関心が極めて高く、体育学部が定める3つの方針(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)と自身の目標とが合致し、本学での学修を活かして、将来、当該分野で活躍・貢献しようという強い意欲を有する者。
- 原則として以下のCEFRランクの[B2]以上のランク資格を得ている者または英検スコア(CSE2.0)のトータルスコアが、[2304点]以上のスコアを取得した者。
- 本学入学時(平成30年4月1日)18歳以上であり、次の①～④のいずれかに該当する者。
  - 日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者。
  - 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者。
  - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者。
  - 学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または平成30年3月までにこれに該当する見込みの者。

#### 児童スポーツ教育学部

以下全ての条件を満たしている者

- 児童スポーツ教育学及びスポーツへの関心が極めて高く、将来、次のいずれかにおいて、社会で活躍・貢献しようという強い希望のある者。

【児童スポーツ教育コース】

学校現場や地域における児童の体育・スポーツや健康に関する適切な指導・支援が行える小学校教諭、幼稚園教諭等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。

【幼児教育保育コース】

教育・保育の現場における乳幼児の体づくり・運動遊びや健康指導に関する適切な指導・支援が行える幼稚園教諭・保育士等を目指し、関連する実践的な技術や理論の修得に積極的に取り組もうとする意欲を有する者。

- 原則として以下のCEFRランクの[B2]以上のランク資格を得ている者または英検スコア(CSE2.0)のトータルスコアが、[2304点]以上のスコアを取得した者。

- 本学入学時(平成30年4月1日)18歳以上であり、次の①～④のいずれかに該当する者。
  - 日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者。
  - 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者。
  - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者。
  - 学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または平成30年3月までにこれに該当する見込みの者。

#### ■各試験団体の採点によるCEFRの対照表

CEFR	英検	GTEC GBT	IELTS	TEAP	TOEFL IBT	TOEFL Junior	TOEIC S&W
C2			8.5-9.0				
C1	1級	1400	7.0-8.0	400	95-120		1305-1390
B2	準1級	1250-1399	5.5-6.5	334-399	72-94	341-352	1095-1300
B1	2級	1000-1249	4.0-5.0	226-333	42-71	322-340	790-1090
A2	準2級	700-999	3.0	186-225		300-321	385-785
A1	3級-5級	-699	2.0				200-380

### 選考方法

- 一次選考:書類審査  
二次選考:小論文試験(日本語で論述する。600字以上800字以内、60分)、個人面接(日本語と英語:10分)

#### スポーツ文化学部

以下全ての条件を満たす者。

- スポーツの関心が極めて高く、スポーツ文化学部が定める3つの方針(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)と自身の目標とが合致し、本学での学修を活かして、将来、当該分野で活躍・貢献しようという強い意欲を有する者。
- 原則として以下のCEFRランクの[B2]以上のランク資格を得ている者または英検スコア(CSE2.0)のトータルスコアが、[2304点]以上のスコアを取得した者。
- 本学入学時(平成30年4月1日)18歳以上であり、次の①～④のいずれかに該当する者。
  - 日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者。
  - 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者。
  - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者。
  - 学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または平成30年3月までにこれに該当する見込みの者。

#### 保健医療学部

以下全ての条件を満たす者。

- スポーツの関心が極めて高く、保健医療学部が定める3つの方針(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)と自身の目標とが合致し、本学での学修を活かして、将来、当該分野で活躍・貢献しようという強い意欲を有する者。
- 原則として以下のCEFRランクの[B2]以上のランク資格を得ている者または英検スコア(CSE2.0)のトータルスコアが、[2304点]以上のスコアを取得した者。
- 本学入学時(平成30年4月1日)18歳以上であり、次の①～④のいずれかに該当する者。
  - 日本国籍を有する者または日本国の永住許可を得ている者その他これに準ずる者。
  - 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者。
  - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者。
  - 学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または平成30年3月までにこれに該当する見込みの者。

※CEFR(Common European Framework of Reference for Languages)